



医療センター構想について

10月臨時町議会で補正予算案が否決

医療センター構想の経過

10月6日に開催された臨時町議会で、医療センターの計画づくりに関する補正予算案が否決となりました。これにより、大網白里町、東金市ならびに九十九里町との1市2町による医療センター構想の検討は、結果的に断念せざるを得なくなりました。

医療の立て直しに向けて

本町周辺地域では、救急や小児、産科といった医療が不足していることから、県の支援、千葉大学の協力を得る中で、1市2町による新たな中核的医療施設の整備を模索してきました。

本年の6月定例町議会で、検討準備のための経費が補正予算案として町議会に提案されましたが、否決となりました(東金市議会と九十九里町議会では可決済み)。

町議会内で 地域医療問題を 議論

6月定例町議会で、町議会内に地域医療対策特別委員会の設置が可決されました。山武地域内の公立病院長や山武市長、県などから意見聴取が行われ、9月12日には、「議会の議決を経ない協議機関の立ち上げを推進する」という中間報告書が公表されました。

病床申請期限は 10月末

新たに病院を建設するためには、県から新規に病床枠の配分を受ける必要があります。9月17日には、県から新しい保健医療計画に基づく病床申請の受け付けを、10月末とすることが改めて明示されました。

また、医療センター構想を進めるのであれば、早急に医療機能や病床規模などの検討を進めていくことが必要であり、センター長候補者の平澤氏や千葉大学に対しても、いつまでも中途半端な状態でおくことはできないとし、協議を直ちに進めて欲しいという要請がありました。

10月臨時町議会で 再度補正予算を 提案

今後の協議にあたっては、予算が可決された段階で、ま

ず、県から、医療センターに係る規模、機能や県の財政支援などを含めた計画のたたき台が示される予定でした。そして、10月末までに病床申請をするために計画のたたき台をシミュレーションしなければならず、これには最低2週間から3週間は必要でありました。さらに、その結果を1市2町で検討しなければならず、この期間を逆算すると、遅くとも10月初めには、必要な予算を確保して検討を始めるなければならないということから、臨時町議会が10月6日に開催されたものです。

予算案の内容

県から示されるたたき台に基づき、県の財政支援と1市2町の負担で可能かどうか専門の第三者機関に検証を委託するための経費、および病床数や診療科等の医療機能について医療関係者に意見を聴くための経費で、必要最小限の予算案でした。

臨時町議会の 結果

町議会では、「県の支援、千葉大学の協力なくしては実現できない、議論を進めるべき」という意見がありました。

また一方で、「県の財政支援が明確ではなく、1市2町で運営できるのか」などの意見も出され、採決の結果、賛成9、反対10により否決となり

保健師だより

ブックスタートをご存じですか

ブックスタートってなあに?

ブックスタートは1992年にイギリスで始まりました。地域に生まれたすべての赤ちゃんに保護者にメッセージを添えて絵本を手渡し、赤ちゃんに保護者が絵本を介して「温かくて楽しい言葉のひととき」を持つことを応援する運動です。日本では2001年、世界で2番目に開始しています。

なぜ赤ちゃんが対象なの?

まだ字を読むことや、言葉の意味を理解できない赤ちゃんも、絵をじっくり見つめたり指差したり、読んでくれる人を見つめてその声に耳を澄ませたりと赤ちゃんそれぞれの絵本の楽しみ方があります。

「絵本を読む」というより、赤ちゃんに大好きな人と一緒に「分かち合う楽しいひととき」をできるだけ早く届けたいからなのです。

本町のブックスタート

4カ月の乳児健診の際にブックスタートを実施しています。保健推進員の方々に、読み聞かせをしていただき、「だからこぶたちゃん」、「くだもの」の2冊の本をプレゼントしています。

なぜ「読み聞かせ」をしてから絵本を渡すの?

絵本をただ配るだけでなく、保護者も一緒に赤ちゃんのかわいい反応を見ながら、絵本を開く時間の楽しさを体験してもらうことが、家庭でもそうした時間を持つ一番のきっかけになるからです。



ブックスタートをきっかけに
親子の時間が増えることを願っています

問 健康介護課健康指導班 ☎(72)8321

1市2町医療 センター構想は 断念

県、千葉大学の全面的支援のもとでの1市2町医療センター構想については、大網白里町は参画を断念することとなりました。

今後、本町としては、大網病院を維持し、町民の医療確保に取り組んでいくしかありませんが、周辺地域全体の医療の将来展望が不透明となつた今、大網病院の前途は厳しいといわざるを得ません。

救急をはじめとする地域医療の立て直しは、当面、手探りの状態が続いていくものと思われませんが、この問題は本町の大きな課題です。

問 健康介護課 ☎(70)0332

栄養士だより 78

いきいき教室(栄養コース)がスタート

町では、65歳以上で「介護予防のための生活機能評価」の栄養改善が必要と認められた方を対象に、今後も元気に過ごせるよう、栄養士が食事のアドバイスをしたり、簡単な料理を紹介したりする教室を開催します。

食事が偏りがちだ、体重が減少してきたなど、栄養状態に心配のある方はご相談ください。

▶ 日程・内容(全6回)

回	実施日	内 容	回	実施日	内 容
1	11/5(水)	健康チェック・問診 (身体測定、食事状況について)	4	1/14(水)	「便秘を予防する食事」 実習・簡単な料理づくり
2	11/20(木)	「低栄養予防の食生活について」 おやつを試食	5	2/23(月)	「かんたん料理を作ろう」 実習・簡単な料理づくり
3	12/22(月)	「質のよいたんぱく質をとろう」 実習・簡単な料理づくり	6	3/16(月)	健康チェック・問診、「水分補給と脱水予防」、おやつを試食

- ▶ 時 間 = 10時～11時30分 実習があるときは13時ごろ終了予定
- ▶ 会 場 = 中央公民館調理室
- ▶ 対 象 = 65歳以上で「介護予防のための生活機能評価」の栄養改善が必要と認められた方
- ▶ 持ち物 = 実習のあるときはエプロン・三角巾
- ▶ 参加費 = 無料
- ▶ その他 = 希望者には無料で送迎あり

問 健康介護課高齢者支援班 ☎(70)0332